

平成26年度 当初予算の概要

海景色の映えるまち

～地域資源を活かした理想郷の実現～

大崎上島町

目 次

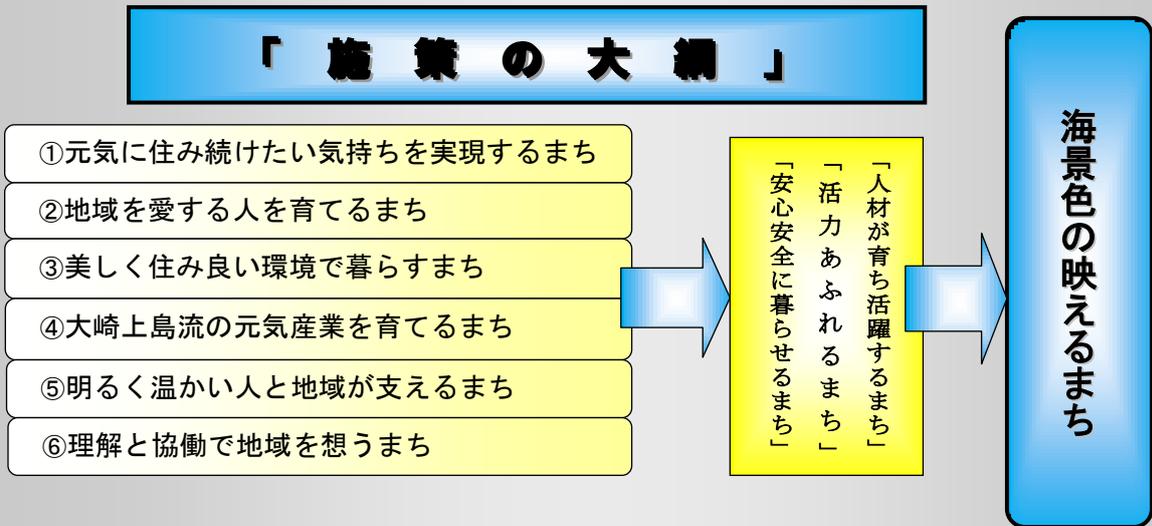
(1)	平成26年度当初予算の全体像	1
①	当初予算の考え方	1
②	会計別予算総括表	2
③	一般会計予算の状況(推移)	3
(2)	「海景色の映えるまち大崎上島町」づくりの推進	4
①	「海景色の映えるまち」の実現に向けて	4
②	重点配分	6
(3)	一般会計予算の内容	8
①	歳入予算の状況	8
②	目的別歳出予算の状況	9
③	性質別歳出予算の状況	10
(4)	特別会計予算の状況	11
(5)	基金・地方債現在高一覧表	13
①	各種基金一覧表	13
②	地方債残高一覧表	14
(6)	主な新規・拡充事業	15
①	元気に住み続けたい気持ちを実現するまち	16
②	地域を愛する人を育てるまち	19
③	美しく住み良い環境で暮らすまち	20
④	大崎上島流の元気産業を育てるまち	24
⑤	明るく温かい人と地域が支えるまち	28
⑥	理解と協働で地域を想うまち	29

(1) 平成26年度当初予算の全体像

① 当初予算の考え方

(1) 「海景色の映えるまち」の推進

本町の目指す将来像である、「海景色が映えるまち 地域資源を活かした理想郷」の実現に向けて、「安心安全に暮らせるまち」・「活力あふれるまち」・「人材が育ち活躍するまち」づくりを推進するための事業に重点化を図ります。

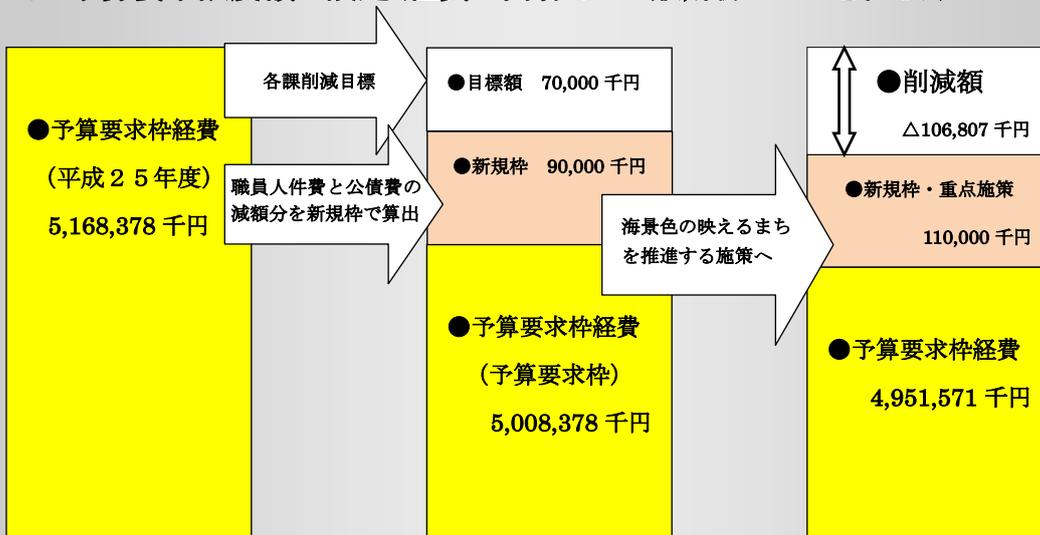


(2) 予算要求

平成26年度より合併算定替の特例が段階的に終了し、平成26年度では、普通交付税加算分が0.1縮減(約70,000千円減)となり5年間で段階的に縮減(約7億円減)される課題に対応するために、各課に平成26年度削減分70,000千円(一般財源分)を振分けて削減額目標を提示し、一般財源限度額以内の予算要求となっています。

また、新規事業については別枠とし、合理化により削減される人件費と過去の借金による公債費の減少分を充当することとします。(約90,000千円)

◆ 予算要求限度額の設定(経費の内容は、一般財源ベースとする。)



平成26年度当初予算の全体像

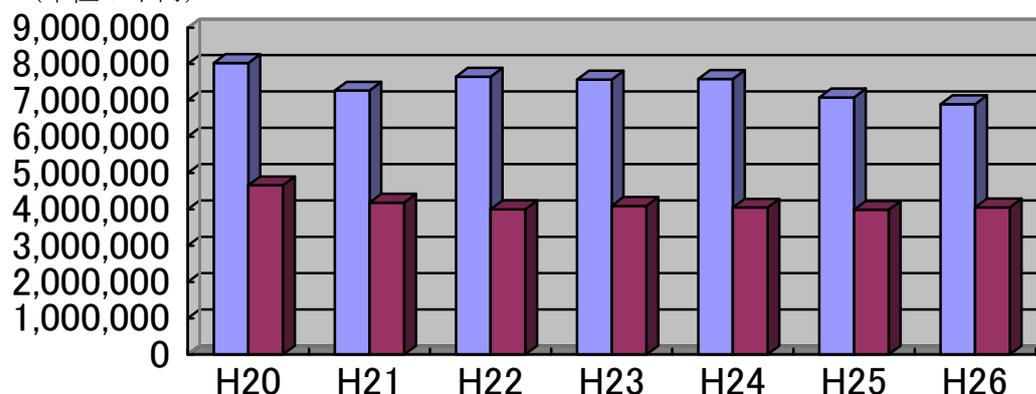
② 会計別予算総括表

(単位：千円)

	平成26年度	増減額	増減率	平成25年度
一般会計	6,899,116	△179,842	△2.5%	7,078,958
国民健康保険事業特別会計	1,280,431	△9,724	△0.8%	1,290,155
介護保険事業特別会計	1,508,254	10,517	0.7%	1,497,737
後期高齢者医療保険事業特別会計	193,299	8,157	4.4%	185,142
簡易水道事業特別会計	559,667	33,879	6.4%	525,788
公共下水道事業特別会計	174,241	38,161	28.0%	136,080
農業集落排水事業特別会計	38,405	△1,339	△3.4%	39,744
漁業集落排水事業特別会計	66,243	10,626	19.1%	55,617
港湾管理特別会計	14,036	△51	△0.4%	14,087
漁港管理特別会計	3,575	117	3.4%	3,458
交通事業特別会計	200,451	△25,931	△11.5%	226,382
干拓地管理特別会計	11,510	△501	△4.2%	12,011
特別会計合計	4,050,112	63,911	1.6%	3,986,201
合計	10,949,228	△115,931	△1.0%	11,065,159

各会計規模の推計

(単位：千円)



■ 一般会計 ■ 特別会計

平成26年度当初予算の全体像

③ 一般会計予算の状況（推移）

人件費、公債費、普通建設費などの減少により
68億9,911万6千円（前年度増減比較△179,842千円△2.5%）



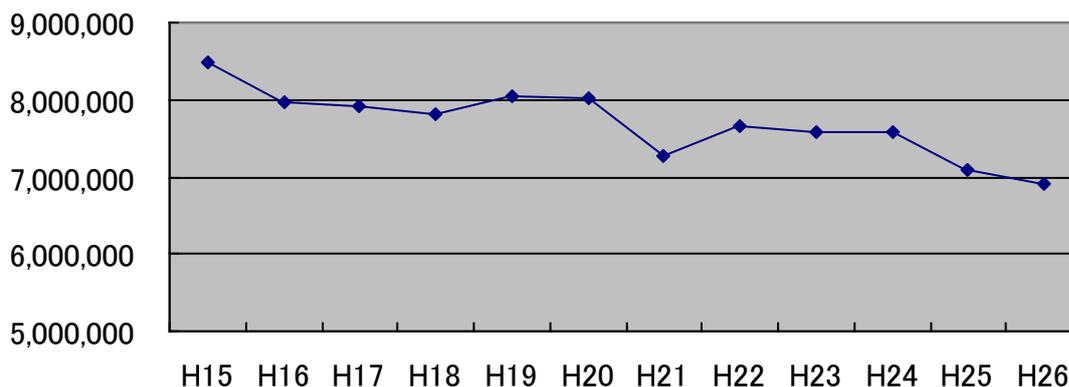
前年度当初予算比で、普通建設費が165,671千円減少しています。新規事業として大串キャンプ場シャワー棟整備事業30,726千円や町道東原下向山線改良事業20,000千円・救急化学消防車購入38,104千円が実施されるが、汚泥再生処理センター建設完了に伴う170,413千円減や定住促進用住宅整備事業完了に伴う29,861千円減が主な要因です。前年度比179,842千円減となり68億9,911万6千円の予算規模となりました。

(単位：千円)

年 度	予 算 規 模	前 年 度 増 減 額	前 年 度 増 減 率
平成26年度	6,899,116	△179,842	△2.5%
平成25年度	7,078,958	△514,389	△6.8%
平成24年度	7,593,347	17,809	0.2%
平成23年度	7,575,538	△77,535	△1.0%
平成22年度	7,653,073	383,775	5.3%
平成21年度	7,269,298	△760,332	△9.5%
平成20年度	8,029,630	△5,661	△0.1%
平成19年度	8,035,291	209,717	2.7%
平成18年度	7,825,574	△82,832	△1.0%
平成17年度	7,908,406	△69,522	△0.9%
平成16年度	7,977,928	△505,597	△6.0%
平成15年度	8,483,525		

一般会計当初予算規模の推移

(単位：千円)



(2) 「海景色の映えるまち」の推進

① 「海景色の映えるまち」の実現に向けて

海景色には、瀬戸内海の多島美・輝く海・温暖な気候などの自然資源と文化・産業など、島ならではの多種多様な社会資源、さらに、優しさ・癒し・元気といった島に住む人間によって生み出されるすべての効果を含んでいます。

「海景色の映えるまち」

「地域資源を活かした理想の郷」実現に向けての重点施策

◆ 元気に住み続けたい気持ちを実現するまち

- じん臓障害者通院助成事業 ■ 身体・知的障害者通院助成事業 ■ 障害者福祉計画策定事業
- 老人クラブ助成事業 ■ 生きがい対策事業 ■ 敬老会開催事業 ■ 緊急通報体制等整備事業
- 配食サービス事業 ■ 外出支援サービス事業 ■ 子育てあんしん住宅リフォーム普及支援事業
- 子育て支援事業 ■ 子育てヘルパー派遣事業 ■ 予防接種事業 ■ 母子保健事業 ■ 診療所運営事業
- 園児・児童・生徒送迎事業 ■ 高校・大学等奨学金貸付事業 ■ 放課後子どもプラン推進事業

◆ 地域を愛する人を育てるまち

- 若者定住・リーダー育成事業 ■ 集落支援員事業 ■ 産業文化祭開催助成費 ■ 生涯学習推進事業
- 文化活動推進事業 ■ 文化財保護事業 ■ 文化財保存団体育成事業 ■ 情報プラザ・エル運営事業
- 社会体育推進諸事業 ■ 海と島の歴史資料館管理運営事業 ■ ふれあい郷土資料館管理運営事業
- ふれあいの館管理事業 ■ 大崎上島学事業

「海景色の映えるまち」の推進

◆ 美しく住み良い環境で暮らすまち

- 垂水団地維持管理事業 ■ 過疎地域振興対策事業 ■ 地域情報化推進事業 ■ 地域公共交通再編総合事業
- 住宅用太陽光発電システム等普及促進事業 ■ 常備消防運営事業 ■ コミュニティバス運営事業
- 大崎上島交通問題協議会運営事業 ■ 海上交通運航欠損額補助事業 ■ 防犯灯管理事業 ■ 火葬場運営事業
- 一般廃棄物収集運搬事業 ■ 子育て住宅維持管理事業 ■ 広島中央環境衛生組合負担金
- 小規模農業基盤整備事業 ■ ひろしまの森づくり事業 ■ 町道東原下向山線改良事業
- 林道天満線新設改良事業 ■ 社会資本整備総合交付金事業 ■ 小型合併処理浄化槽設置整備事業
- 消防・防災設備機材等整備事業

◆ 大崎上島流の元気産業を育てるまち

- 定住促進用住宅管理運営事業 ■ 体験型修学旅行誘致事業 ■ 地域間交流促進事業 ■ 交流・定住促進事業
- 定住促進住宅用地分譲事業 ■ 超小型モビリティ導入促進事業 ■ 造船製造活性化事業
- 未来創造支援事業 ■ 新規就農者育成交付金事業 ■ かんきつ産地育成事業 ■ 栽培漁業新魚種導入事業
- イベント開催助成事業 ■ 大串キャンプ場周辺施設管理事業 ■ 自然公園施設管理事業
- 畑地帯総合整備事業 ■ 大崎東地区畑地帯総合整備事業 ■ 有害鳥獣駆除対策事業
- 産業文化祭開催助成事業 ■ オリジナルナンバープレート導入事業

◆ 明るく温かい人と地域が支えるまち

- 地区活動育成助成事業 ■ 一般広報事業 ■ コミュニティ推進事業 ■ 宝くじコミュニティ助成金事業

◆ 理解と協働で地域を想うまち

- 職員相互派遣事業 ■ 公文書管理活用事業 ■ 情報化推進事業 ■ 長期総合計画策定事業

「海景色の映えるまち」の推進

② 重点配分

総合計画の基本構想で示した本町の目指す将来像

「海景色の映えるまち 地域資源を活かした理想郷」

の実現に向けて、「安全安心に暮らせるまち」・「活力あふれるまち」・「人材が育ち活躍するまち」づくりを推進するため、特に集中して取り組むことが必要な分野に対して重点的な予算配分を行い、さまざまな施策に取り組んでいます。

平成15年「大崎上島3町合併」から10年が経過した事による合併算定替の特例が段階的に終了し、平成26年度では、普通交付税加算分が0.1縮減（約7千万円減）となり5年間で段階的に縮減（約7億円減）されることを踏まえたうえで、限られた財源と人材を有効活用し、事業の適切な選択と集中に努め、最小の経費で最大の効果をあげるとの視点のもと、これまで進めてきた「子育て支援」・「高齢者支援」・「安全安心づくり」・「交通支援」・「定住促進」・「観光支援」・「産業支援」・「リーダー育成」を引き続き主要な分野として位置づけ、重点配分をいたしました。

安全安心に暮らせるまち 494,952千円

◆ **子育て支援【108,220千円】**

○ 放課後子どもプラン推進事業	12,569千円
○ 子育て支援事業	15,000千円
○ 一時保育事業	3,959千円
○ 園児・児童・生徒送迎事業	17,407千円
○ 高校・大学等奨学金貸付事業	46,385千円
○ 私立幼稚園就園費助成事業	1,245千円
○ 子育てあんしん住宅リフォーム普及支援事業	300千円
○ 乳幼児医療費給付事業	5,059千円
○ 母子保健事業	6,296千円

◆ **高齢者支援【22,545千円】**

○ 老人クラブ助成事業	2,396千円
○ 敬老会開催事業	3,595千円
○ 緊急通報体制等整備事業	4,634千円
○ 配食サービス事業	9,920千円
○ 外出支援サービス事業	2,000千円

◆ **安全安心づくり【280,383千円】**

○ 常備消防運営事業	248,615千円
○ 防災無線等維持管理事業	13,280千円
○ 消防・防災設備機材等整備事業	18,488千円

◆ **交通支援【83,804千円】**

○ コミュニティバス運行事業	26,813千円
○ 海上交通運航欠損額補助事業	56,991千円

活力あふれるまち**60,437千円**◆ **定住促進【3,014千円】**

- | | |
|-----------------|---------|
| ○ 定住促進用住宅管理運営事業 | 1,592千円 |
| ○ 交流・定住促進事業 | 1,073千円 |
| ○ 定住促進用住宅用地分譲事業 | 349千円 |

◆ **観光支援【57,423千円】**

- | | |
|-------------------|----------|
| ○ 超小型モビリティ導入促進事業 | 5,021千円 |
| ○ 体験型修学旅行誘致事業 | 2,700千円 |
| ○ イベント開催助成事業 | 7,045千円 |
| ○ 大串キャンプ場周辺施設管理事業 | 42,657千円 |

人材が育ち活躍するまち**71,604千円**◆ **産業支援【69,091千円】**

- | | |
|----------------|----------|
| ○ 造船製造活性化事業 | 37,200千円 |
| ○ 未来創造支援事業 | 8,900千円 |
| ○ 新規就農者育成交付金事業 | 17,250千円 |
| ○ 栽培漁業新魚種導入事業 | 5,741千円 |

◆ **リーダー育成【2,513千円】**

- | | |
|-----------------|---------|
| ○ 若者定住・リーダー育成事業 | 500千円 |
| ○ 文化財保存団体育成事業 | 2,013千円 |

(3) 一般会計予算の内容

① 歳入予算の状況

(単位:千円)

歳入	予算額				備考
	平成26年度(a)	平成25年度(b)	増減額(c)=(a)-(b)	増減率(c)/(b)	
町税	1,093,564	1,100,415	△ 6,851	△ 0.6	自主財源
地方譲与税	51,967	52,562	△ 595	△ 1.1	
利子割交付金	2,300	2,250	50	2.2	
配当割交付金	2,921	1,418	1,503	106.0	
株式等譲渡所得割交付金	917	362	555	153.3	
地方消費税交付金	96,339	77,912	18,427	23.7	
自動車取得税交付金	9,126	16,476	△ 7,350	△ 44.6	
地方特例交付金	1,011	1,180	△ 169	△ 14.3	
地方交付税	3,030,000	3,100,000	△ 70,000	△ 2.3	
普通交付税	2,730,000	2,800,000	△ 70,000	△ 2.5	
特別交付税	300,000	300,000	0	0.0	
交通安全対策特別交付金	884	826	58	7.0	
分担金及び負担金	135,316	136,992	△ 1,676	△ 1.2	自主財源
使用料及び手数料	88,907	88,322	585	0.7	自主財源
国庫支出金	412,022	404,836	7,186	1.8	
県支出金	389,614	407,160	△ 17,546	△ 4.3	
財産収入	42,090	27,727	14,363	51.8	自主財源
寄附金	105	105	0	0.0	自主財源
繰入金	574,557	618,331	△ 43,774	△ 7.1	自主財源
繰越金	1	1	0	0.0	自主財源
諸収入	118,430	94,548	23,882	25.3	自主財源
町債	849,045	947,535	△ 98,490	△ 10.4	
計	6,899,116	7,078,958	△ 179,842	△ 2.5	

※町税については、町民税及び固定資産税が減少しました。

※地方交付税については、普通交付税加算分が縮減されることにより減少しました。

※国庫支出金については、自立支援給付費負担金や社会資本整備総合交付金などが増加しました。

※町債については、投資的事業の減に連動して減少しました。

一般会計予算の内容

② 目的別歳出予算の状況

(単位:千円)

歳 出	予 算 額				備 考
	平成26年度(a)	平成25年度(b)	増減額(c)=(a)-(b)	増減率(c)/(b)	
議会費	79,788	75,471	4,317	5.7	
総務費	1,163,469	1,128,105	35,364	3.1	
民生費	1,481,365	1,492,730	△ 11,365	△ 0.8	
衛生費	683,012	826,701	△ 143,689	△ 17.4	
労働費	64,929	20,653	44,276	214.4	
農林水産業費	364,326	377,551	△ 13,225	△ 3.5	
商工費	117,691	73,287	44,404	60.6	
土木費	489,921	536,933	△ 47,012	△ 8.8	
消防費	335,826	333,002	2,824	0.8	
教育費	448,684	476,799	△ 28,115	△ 5.9	
災害復旧費	634	634	0	0.0	
公債費	1,666,470	1,734,091	△ 67,621	△ 3.9	
諸支出金	1	1	0	0.0	
予備費	3,000	3,000	0	0.0	
計	6,899,116	7,078,958	△ 179,842	△ 2.5	

※総務費については、情報化推進事業などが増加しました。

※民生費については、国民健康保険事業特別会計繰出金などが減少しました。

※衛生費については、広島中央環境衛生組合負担金などが減少しました。

※労働費については、緊急雇用対策事業などが増加しました。

※商工費については、大串キャンプ場周辺施設整備事業などが増加しました。

※土木費については、単独道路改良事業などが減少しました。

※消防費については、常備消防車両整備事業などが増加しました。

※教育費については、社会体育施設新設事業などが減少しました。

※公債費については、地方債の償還が進んだため減少しました。

一般会計予算の内容

③ 性質別歳出予算の状況

(単位：千円)

区 分		予 算 額				備考
		平成26年度(a)	平成25年度(b)	増減額(c)=(a)-(b)	増減率(c)/(b)	
義務的経費	人件費	955,765	1,006,387	△ 50,622	△ 5.0	
	扶助費	564,331	563,691	640	0.1	
	公債費	1,666,470	1,734,091	△ 67,621	△ 3.9	
計		3,186,566	3,304,169	△ 117,603	△ 3.6	
投資的経費	普通建設事業費	557,108	722,779	△ 165,671	△ 22.9	
	うち補助事業費	135,390	128,429	6,961	5.4	
	うち単独事業費	421,718	594,350	△ 172,632	△ 29.0	
	災害復旧事業	634	634	0	0.0	
計		557,742	723,413	△ 165,671	△ 22.9	
その他	物件費	1,145,411	1,067,986	77,425	7.2	
	維持補修費	42,235	40,797	1,438	3.5	
	補助費等	839,269	842,632	△ 3,363	△ 0.4	
	積立金	226,741	205,745	20,996	10.2	
	投資及び出資金	0	0	0	0.0	
	貸付金	74,621	76,262	△ 1,641	△ 2.2	
	繰出金	823,531	814,954	8,577	1.1	
	予備費	3,000	3,000	0	0.0	
計		3,154,808	3,051,376	103,432	3.4	
合 計		6,899,116	7,078,958	△ 179,842	△ 2.5	

※人件費については、退職者による影響により減少しました。

※扶助費については、介護給付・訓練給付事業などが増加しました。

※公債費については、地方債の償還が進んだため減少しました。

※普通建設費については、単独道路改良事業などが減少しました。

※物件費については、情報化推進事業費などが増加しました。

※積立金については、ふるさとづくり基金積立金（太陽光発電所設置事業土地賃借料分）
などが増加しました。

※繰出金については、簡易水道特別会計繰出金などが増加しました。

(4) 特別会計予算の状況**◆ 国民健康保険特別会計**

(単位：千円)

	平成26年度	増減額	増減率	平成25年度
歳入・歳出予算額	1,280,431	△9,724	△0.8%	1,290,155

(増減要因)

- 一般被保険者療養給付費などが減少しました。

◆ 介護保険事業特別会計

(単位：千円)

	平成26年度	増減額	増減率	平成25年度
歳入・歳出予算額	1,508,254	10,517	0.7%	1,497,737

(増減要因)

- 居宅介護サービス給付費などが増加しました。

◆ 後期高齢者医療保険事業特別会計

(単位：千円)

	平成26年度	増減額	増減率	平成25年度
歳入・歳出予算額	193,299	8,157	4.4%	185,142

(増減要因)

- 広域連合納付金などが増加しました。

◆ 簡易水道事業特別会計

(単位：千円)

	平成26年度	増減額	増減率	平成25年度
歳入・歳出予算額	559,667	33,879	6.4%	525,788

(増減要因)

- 簡易水道統合事業などが増加しました。

◆ 公共下水道事業特別会計

(単位：千円)

	平成26年度	増減額	増減率	平成25年度
歳入・歳出予算額	174,241	38,161	28.0%	136,080

(増減要因)

- 公共下水道施設建設事業などが増加しました。

特別会計予算の状況

◆ 農業集落排水事業特別会計

(単位：千円)

	平成26年度	増減額	増減率	平成25年度
歳入・歳出予算額	38,405	△1,339	△3.4%	39,744

(増減要因)

- 一般管理費などが減少しました。

◆ 漁業集落排水事業特別会計

(単位：千円)

	平成26年度	増減額	増減率	平成25年度
歳入・歳出予算額	66,243	10,626	19.1%	55,617

(増減要因)

- 漁業集落排水施設建設事業などが増加しました。

◆ 港湾管理特別会計

(単位：千円)

	平成26年度	増減額	増減率	平成25年度
歳入・歳出予算額	14,036	△51	△0.4%	14,087

(増減要因)

- 一般管理諸費などが減少しました。

◆ 漁港管理特別会計

(単位：千円)

	平成26年度	増減額	増減率	平成25年度
歳入・歳出予算額	3,575	117	3.4%	3,458

(増減要因)

- 一般管理諸費などが増加しました。

◆ 交通事業特別会計

(単位：千円)

	平成26年度	増減額	増減率	平成25年度
歳入・歳出予算額	200,451	△25,931	△11.5%	226,382

(増減要因)

- 新造船建造費などが減少しました。

◆ 干拓地管理特別会計

(単位：千円)

	平成26年度	増減額	増減率	平成25年度
歳入・歳出予算額	11,510	△501	△4.2%	12,011

(増減要因)

- 干拓地管理事業などが減少しました。

(5) 基金・地方債現在高一覧表

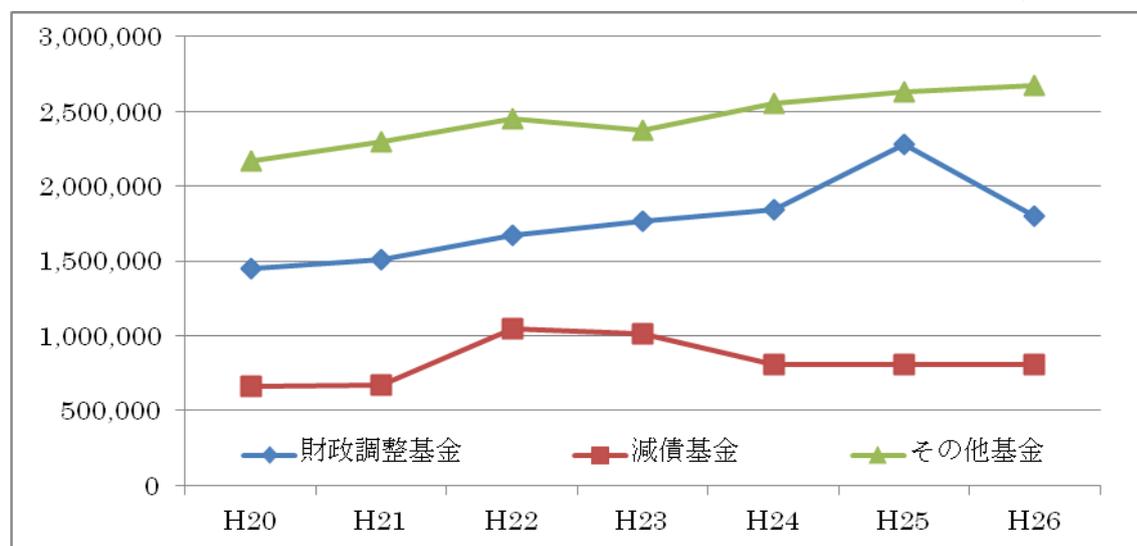
① 各種基金一覧表

各種基金一覧表

単位：千円

基金名	H20年度末残高	H21年度末残高	H22年度末残高	H23年度末残高	H24年度末残高	H25年度末残高予定	H26年度当初見込
財政調整基金	1,447,137	1,511,551	1,672,193	1,765,082	1,844,540	2,282,046	1,800,730
減債基金	664,920	668,756	1,042,519	1,014,473	802,827	805,671	808,054
小計	2,112,057	2,180,307	2,714,712	2,779,555	2,647,367	3,087,717	2,608,784
ふるさとづくり基金	568,526	628,119	653,765	632,620	587,914	575,381	562,530
垂水団地基金				11,255	20,561	30,001	42,829
長島大橋維持管理基金	91,962	92,509	143,244	109,971	109,842	109,787	109,656
地域福祉基金	345,931	289,806	257,885	210,648	159,628	108,131	51,605
小計	1,006,419	1,010,434	1,054,894	964,494	877,945	823,300	766,620
積立型基金計	3,118,476	3,190,741	3,769,606	3,744,049	3,525,312	3,911,017	3,375,404
まちづくり振興基金	604,386	707,320	810,437	913,007	1,015,695	1,119,162	1,223,005
過疎地域自立促進基金				16,000	95,600	177,867	261,798
共同墓地基金	16,170	16,761	17,392	17,413	17,434	17,462	17,485
果実運用型基金計	620,556	724,081	827,829	946,420	1,128,729	1,314,491	1,502,288
土地開発基金(現金のみ)	201,878	192,912	193,566	193,566	206,756	206,756	206,756
国光奨学金基金(貸付金を含む)	12,727	12,729	12,737	12,741	12,743	12,746	12,749
古田奨学金基金(貸付金を含む)					50,000	50,132	50,264
定額運用基金計	214,605	205,641	206,303	206,307	269,499	269,634	269,769
国保基金	229,024	272,492	239,106	182,761	198,574	137,374	57,624
介護給付準備基金	39,126	25,411	59,026	0	6,135	16,451	14,119
下水道事業減債基金	16,046	19,408	19,432	19,444	19,472	19,499	19,527
大串干拓地整備基金	30,761	30,765	43,605	50,673	56,598	47,131	44,650
介護従事者処遇改善臨時特例交付金	8,408	5,100	2,550	0	0	0	0
特別会計基金計	323,365	353,176	363,719	252,878	280,779	220,455	135,920
総計	4,277,002	4,473,639	5,167,457	5,149,654	5,204,319	5,715,597	5,283,381

単位：千円



基金・地方債現在高一覧表

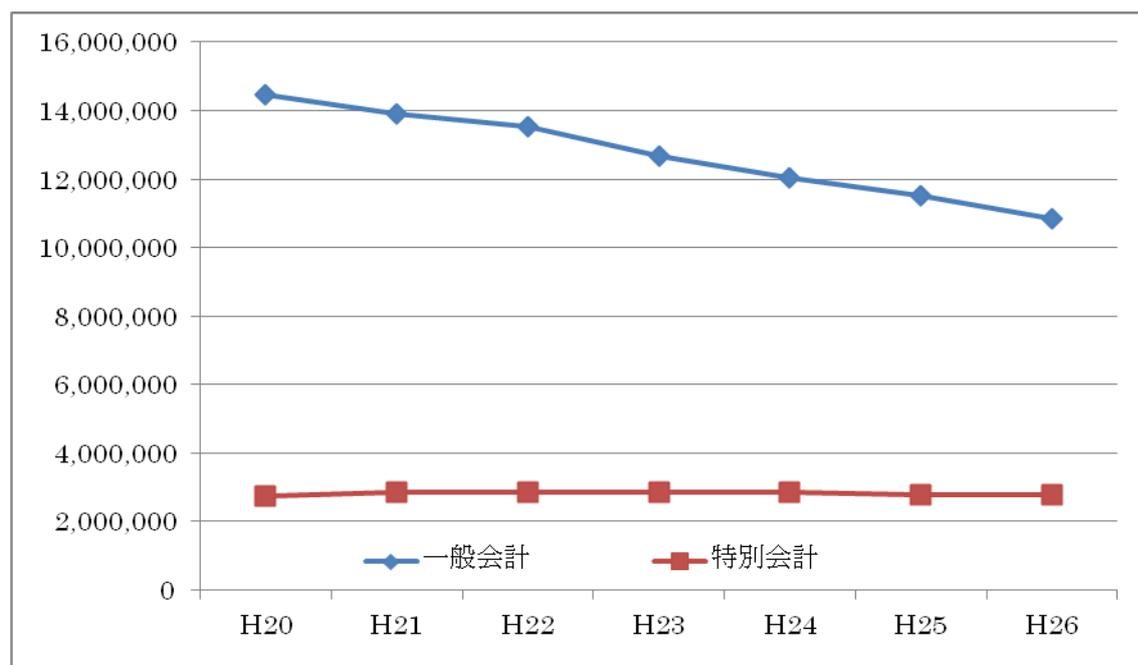
②地方債残高一覧表

地方債残高一覧表

(単位:千円)

会計	H20年度末残高	H21年度末残高	H22年度末残高	H23年度末残高	H24年度末残高	H25年度末残高予定	H26年度当初見込
一般会計	14,462,406	13,894,450	13,518,585	12,692,690	12,035,293	11,521,853	10,840,275
簡易水道事業特別会計	1,028,738	1,056,486	1,017,493	1,001,021	1,002,182	988,215	982,959
公共下水道事業特別会計	1,016,967	1,099,223	1,158,519	1,215,675	1,225,689	1,195,000	1,174,824
農業集落排水事業特別会計	277,597	268,128	255,546	242,619	231,857	220,894	209,726
漁業集落排水事業特別会計	427,917	424,589	410,177	395,955	381,187	365,692	349,551
交通事業特別会計							48,700
合計	17,213,625	16,742,876	16,360,320	15,547,960	14,876,208	14,291,654	13,606,035

単位:千円



(6) 主な新規・拡充事業

「海景色の映えるまち」の実現に向けた取り組みを、総合計画の基本構想による施策体系別示したものです。

「海景色の映えるまち」を実現するための取り組み

◎新規事業17件・●拡充事業9件

元気に住み続けたい気持ちを実現する まち

- ◎エンジョイ健康セミナー事業
- ◎妊婦歯科健診事業
- ◎高齢者・障害者虐待防止ネットワーク事業
- ◎第4期障害者福祉計画策定事業
- ◎地域活動支援センター事業

地域を愛する人を育てる まち

- ◎大崎上島学事業
- ◎町立学校情報機器等整備事業

美しく住み良い環境で暮らす まち

- ◎道路ストック総点検事業
- ◎町道東原下向山線改良事業
- ◎町営渡船建造事業
- 常備消防車両整備事業
- 消防積載車整備事業
- 地域防災計画改定事業
- ◎簡易水道統合事業
- ◎漁業集落排水施設機能診断及び機能保全計画策定事業

大崎上島流の元気産業を育てる まち

- 畑地帯総合整備事業
- 未来創造支援事業
- ◎全国ブルーベリー産地シホジウム
- 中小企業融資資金利子補給事業
- 体験型修学旅行誘致事業
- ◎大串キャンプ場シャワー棟整備事業
- ◎オリジナルナンバープレート導入事業
- 緊急雇用対策事業

明るく温かい人と地域が支える まち

- ◎おもてなしロード整備事業
- ◎定住促進住宅管理運営事業

理解と協働で地域を想う まち

- 第2次長期総合計画策定事業

① 元気に住み続けたい気持ちを実現する まち

■ エンジョイ健康セミナー事業（保健衛生課）

【予算額】

3, 235千円（国民健康保険事業特別会計）

【現状・課題】

- 本町の約4割を占める国民健康保険加入者の1人当たりの医療費は広島県ワースト2位です。
- 医療費の大半が、生活習慣病・筋骨系（運動機能）の疾患によるものです。

【事業目的】

- 血液検査・運動機能検査等を行いながら専門職による健康・運動・栄養等の指導を受け、生活の中で楽しみながら運動習慣や健康的な生活を定着させることにより、心身の機能を向上し、健康保持増進・疾病予防を推進することを目的とします。

【事業内容】

- 専門職による健康講座に血液検査・運動機能測定等を導入した個人に合ったプログラムによる健康セミナーを実施します。
血液検査・運動機能評価等を3回（初回・中間・終了時）行います。
専門職（医師・理学療法士等・管理栄養士・保健師）による健康講座を行います。
運動習慣の継続・定着化を図ります。（各種サークル活動等）
事業の企画・実践・分析・評価を広島大学大学院の協力を得て行います。

■ 妊婦歯科健診事業（保健衛生課）

【予算額】

98千円

【現状・課題】

- 妊娠している女性の体は様々な変化をきたしており、特に口腔内においてはむし歯や歯周疾患にかかりやすい状況となっています。
- 妊娠している女性が歯周病に罹患している場合、低体重児および早産の危険度が高くなることが指摘されています。

【事業目的】

- 妊娠期における歯科健康診査を実施することにより、妊婦及び子どもの健康の保持増進を図るとともに経済的な負担を軽減することを目的とします。

【事業内容】

- 健診の助成回数は、1人につき1回とし、受診票を交付します。
- 受診票を使用して受診した場合は、無料になります。ただし、治療に係る費用については自己負担となります。

～ 元気に住み続けたい気持ちを実現する まち ～

■ 高齢者・障害者虐待防止ネットワーク事業（福祉課）

【予算額】

70千円

【現状・課題】

- 高齢者や障害者、認知症患者や精神・知的障害者が当事者となる虐待は表面化しづらく、当事者に自覚がないケースが多くあります。
- 被害者・加害者ともにケアが必要な場合が多々あり、関係者の対応のみならず地域全体の理解と協力が不可欠です。

【事業目的】

- 高齢者・障害者に対する虐待を防ぐとともに、地域住民等の理解を深め、関係機関が連携することで、虐待の早期発見及び迅速な対応を図ることを目的とします。

【事業内容】

- 福祉施設・警察・消防等の関係機関と高齢者・障害者虐待防止ネットワークを設立します。
- 設立に伴い周知のためパンフレットを作成し、全戸配布します。

■ 第4期障害者福祉計画策定事業（福祉課）

【予算額】

3,679千円

【現状・課題】

- 障害者自立支援法が障害者総合支援法に改正されるなど、国における障害者の福祉施策は大きく変化しています。
- 本町においても、障害者制度改革の動きに適切に対応しながら、障害者施策を計画的に推進する必要があります。

【事業目的】

- 障害者が住み慣れたまちで自分らしく生活することができ、一人ひとりが支え合うまちづくりを推進することを目的とします。
- 障害者のニーズに沿った障害福祉サービスの充実を図ることを目的とします。

【事業内容】

- 障害者が地域で安心して暮らせる社会の実現に向けて、その指針となる計画を策定します。

～ 元気に住み続けたい気持ちを実現する まち ～

■ 地域活動支援センター事業（福祉課）

【予算額】

6,055千円

【現状・課題】

- 障害者総合支援法において、地域活動支援センター事業は必須事業として位置付けられました。
- 障害者の地域生活支援の促進を図り、障害のある人々の自立を支える必要があります。

【事業目的】

- 在宅障害者等に対し、創作的活動、生産活動、社会との交流の促進等の便宜を供与することを目的とします。

【事業内容】

- ふれあい工房において平成26年4月から地域活動支援センター事業を実施します。

② 地域を愛する人を育てる まち

■大崎上島学事業（教育委員会 総務課）

【予算額】

646千円

【現状・課題】

○大崎上島町の教育推進プランにおいて、「大崎上島の将来を担う たくましく生きる子どもの育成 」を掲げ、目指す子ども像を「郷土に対する誇りを持ち、大崎上島を担う子ども」としています。

【事業目的】

- 教育活動全体を通じて、郷土大崎上島を学ぶことによって地域のすばらしさを気づかせ、地域を愛する心を育てることを目的とします。
- 地域の人材やネットワークとの強い絆をつくり、相互連携して地域の発展に尽くす態度を育てることを目的とします。

【事業内容】

○小学校（3校の各学年が合同で実施）及び中学校で総合的な学習として地域の歴史・習慣・自然等を学び、学習成果を冊子にまとめます。

■町立学校情報機器等整備事業（教育委員会 総務課）

【予算額】

18,268千円

【現状・課題】

- 小・中学校4校のパソコン教室の情報機器等を導入してから7年が経過し、機器に不具合が生じることが増えています。
- また、機器のOSのサポートが平成26年3月末で終了するため、ウイルス感染等への対応が必要です。

【事業目的】

○社会の情報化が急速に進展し、今後も更なるICTの発展が予想され、児童生徒が、情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を身に付けることを目的とします。

【事業内容】

- 小・中学校のパソコン教室のパソコンを103台更新整備します。
- 授業に必要な教育支援ソフト等を整備し、教育の情報化を通じて教育の質の向上を図ります。

③ 美しく住みよい環境でくらす まち

■道路ストック総点検事業（建設課）

【予算額】

5,000千円

【現状・課題】

○道路ストック（これまで整備を行ってきた道路の舗装・トンネル・法面等）が老朽化し、今後における補修工事費の増加が想定される状況で、整備等を計画的に実施する必要性があります。

【事業目的】

- 道路ストックの予防保全的な維持管理、長寿命化に資する改善等を効果的に実施するためことを目的とします。
- 計画的に補修を行うことで、信頼性の向上やコストの削減を図ることを目的とします。

【事業内容】

- 国の総点検実施要領に基づき、道路ストックの点検を行います。
- 点検結果により、補修工法の選定、補修の時期、優先順位等を定めた修繕計画を策定します。

■町道東原下向山線改良事業（建設課）

【予算額】

20,000千円

【現状・課題】

- 本路線の一部において、見通しが悪く危険であり、また通行車両の離合に支障が生じている区間があります。
- 町道においては、計画的に整備を進めています。

【事業目的】

- 地域間道路としての機能を向上させることを目的とします。
- 道路利用者の安全確保を図ることを目的とします。

【事業内容】

- 道路の拡幅等改良工事を行います。L=100.0m（全体計画276.0m）

～ 美しく住みよい環境でくらす まち ～

■町営渡船建造事業（建設課）

【予算額】

124,089千円（交通事業特別会計）

【現状・課題】

- 町営渡船「さざなみ」は、大崎上島と生野島・契島とを結ぶ唯一の公共交通機関であり、白水～生野島～契島航路を1日7往復運航しています。
- 「さざなみ」は、昭和62年3月の進水から26年が経過しており、耐用年数を大幅に経過し、修繕費が増加しています。

【事業目的】

- 持続的な航路運営体制を構築し、安全で安定した運航を図ることを目的とします。

【事業内容】

- 平成27年3月の就航に向けて新船を建造します。
- 新造船は、省エネルギー化を図るとともにバリアフリー法の基準に適合させ、高齢者等に配慮した構造とします。

■常備消防車両整備事業（総務課）

【予算額】

38,104千円

【現状・課題】

- 大崎上島消防署に配備の化学消防ポンプ自動車は、平成8年7月の登録から17年が経過しており、消防車両整備更新計画に定める耐用年数（16年）を経過しています。
- 各種災害への万全な対応を期するとともに、消防活動の効率化・安全化を図るため、消防救急車両の計画的な整備更新が必要です。

【事業目的】

- 効率的かつ効果的に消防救急体制を強化することを目的とします。

【事業内容】

- 化学消防ポンプ自動車1台を更新整備します。
- 今後においても、消防車両整備更新計画に定める耐用年数や性能などの必要性を踏まえ、緊急車両を更新します。

～ 美しく住みよい環境でくらす まち ～

■消防積載車整備事業（総務課）

【予算額】

15,453千円

【現状・課題】

- 各消防団に配備の小型動力ポンプ付積載車は、耐用年数を経過しているものがあります。
- 災害時等において確実で、効率的かつ迅速な対応ができるよう、防災・消防体制の強化が必要です。

【事業目的】

- 災害等に強い安心安全なまちづくりを目指し、町民の安心安全の確保と被害の軽減を図ることを目的とします。

【事業内容】

- 消防団の小型動力ポンプ付積載車を2台更新します。
- 今後においても、耐用年数等を踏まえ、計画的に更新します。

■地域防災計画改定事業（総務課）

【予算額】

2,916千円

【現状・課題】

- 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震によって、これまで想定していた防災対策を全国的に見直すことが求められています。
- 地域防災計画の内容は、社会環境の変化、施設整備等の状況を踏まえ絶えず見直しを行い、実態に即したものとすることとされています。

【事業目的】

- 災害予防、災害応急対策及び災害復旧について必要な対策の基本を定めることにより、総合的かつ計画的な防災行政の整備及び推進を図り、住民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的とします。

【事業内容】

- 国及び県の防災計画の見直しの状況等を逐次把握し、本町の特性に合わせた改定作業を実施します。

～ 美しく住みよい環境でくらす まち ～

■簡易水道統合事業（上下水道課）

【予算額】

150,020千円（簡易水道事業特別会計）

【現状・課題】

○本町は、4つの簡易水道事業を運営しておりますが、経営の効率化等のため、4事業を統合し、平成29年度から上水道事業へ移行することとしています。

【事業目的】

○管理区域の広域化による経営、管理の一体化に伴う事業の効率化、サービスの均一化を図ることを目的とします。

○施設の再構築による経費節減や連絡管の整備に伴う緊急時対応等の強化を図ることを目的とします。

【事業内容】

○上水道事業へ移行するために必要な統合事業認可書を策定します。

○三里浜加圧ポンプ所の新設工事や簡易水道間を結ぶ連絡管布設工事等を行います。

■漁業集落排水施設機能診断及び機能保全計画策定事業（上下水道課）

【予算額】

8,093千円（漁業集落排水事業特別会計）

【現状・課題】

○漁業集落排水事業は、漁港及び漁場の水域環境と漁業集落の生活環境の改善を図るため、平成13年10月から供用開始しています。

○今後における施設の補修工事費等の増加が想定される状況で、整備等を計画的に実施する必要性があります。

【事業目的】

○既存ストックの有効活用等を通じた生産基盤及び生活環境施設の効率的整備を推進することを目的とします。

【事業内容】

○漁業集落排水施設に係る機能診断及び機能保全計画を策定します。

④ 大崎上島流の元気産業を育てる まち

■畑地帯総合整備事業（産業観光課・建設課）

【予算額】

20,335千円

【現状・課題】

○大崎東地区は、条件不利地や農家の高齢化等により、耕作放棄地が増大しており、農業後継者の育成・確保及び農用地の条件整備が急務となっています。

【事業目的】

○農業基盤の整備や、基盤整備により生まれる優良農地の利用集積を進め、担い手の参入を促進し、高収益作物への転換により、持続性の高い農業経営の確立を目指すことを目的とします。

【事業内容】

○平成26年度から平成30年度において大崎東地区の中野新開地区9haと東原下地区1.6haに暗渠排水、客土、造成等農業基盤の整備を実施します。

■未来創造支援事業（産業観光課）

【予算額】

8,900千円

【現状・課題】

○若年層の流出による人口減少や担い手不足、耕作放棄地の増加に歯止めがかからない中、農家の高齢化が進んでいます。

○人口減少・高齢化に歯止めをかけ、本町の農林水産業を持続可能とするためには、新規就農者の育成を図る必要があります。

【事業目的】

○町内外から新たな担い手となる新規就農者を受け入れるしくみ・環境を整備することにより、農業生産物の販売金額の増大を図ることを目的とします。

【事業内容】

○新規就農者の就農初期の負担を軽減するため農業用機械購入に対して助成します。

○ブルーベリー生産者の苗木購入に対して助成します。

～ 大崎上島流の元気産業を育てる まち ～

■全国ブルーベリー産地シンポジウム（産業観光課）

【予算額】

500千円

【現状・課題】

○平成26年は、日本ブルーベリー協会が設立されて20周年という節目の年となっており、大崎上島町において全国ブルーベリー産地シンポジウムが開催されます。

【事業目的】

○シンポジウムにおいて、6次産業化に向けた事例発表を行うことにより、本町での取り組みを全国に発信し、産地のPRを図ることを目的とします。

【事業内容】

○平成26年6月13日・14日の2日間で実施され、基調講演、パネルディスカッションに加え、情報交換交流会、加工施設・園地見学等が行われます。町としてこの取組に賛同し、2014ブルーベリーシンポジウム実行委員会に対し補助します。

■中小企業融資資金利子補給事業（産業観光課）

【予算額】

5,000千円

【現状・課題】

○地方経済の本格的な回復が実感できない状況の中、町内の中小企業においても例外ではありません。

【事業目的】

○経営基盤の強化や設備投資を促し、経営の安定を図ることを目的とします。

【事業内容】

○中小企業者が経営基盤の安定を図るため、金融機関から借り入れる資金に対して利子補給（借入金の1%、上限300千円）を行います。

～ 大崎上島流の元気産業を育てる まち ～

■体験型修学旅行誘致事業（産業観光課）

【予算額】

2,700千円

【現状・課題】

- 新しい修学旅行のスタイルが、より高い教育的効果が得られると注目されています。
- 自然や田舎の生活を実際に体験することによって、心の豊かさを育み、人と人とのかわりの大切さを実感することができます。
- 平成25年度においては、5校（890人）の体験型修学旅行を受入れました。

【事業目的】

- 修学旅行生や観光客などの交流人口の増加により、観光振興及び地域が活性化することを目的とします。

【事業内容】

- 平成26年度は、9校（2,057人）の体験型修学旅行を受入れます。
- 修学旅行生が地域の民家に宿泊し、その家庭の方と共同生活を体験し交流する民泊体験と仕事（農業、漁業等）を手伝う家業体験をします。

■大串キャンプ場シャワー棟整備事業（産業観光課）

【予算額】

30,726千円

【現状・課題】

- 大串キャンプ場は、シーカヤックの整備により夏季だけでなくオールシーズン利用できる、島を代表する観光スポットです。
- 既存のシャワー施設・更衣室等の老朽化が著しい状況です。

【事業目的】

- 大串キャンプ場を利用者にとって利便性の高い施設にすることを目的とします。

【事業内容】

- 大串キャンプ場にシャワー及びトイレを一体化した施設を整備します。
- 今後においても計画的に大串キャンプ場の施設整備を進めていきます。

～ 大崎上島流の元気産業を育てる まち ～

■オリジナルナンバープレート導入事業（税務課）

【予算額】

262千円

【現状・課題】

- 交流人口の増加及び地域の活性化を図るため、様々な広報活動を実施していく必要があります。
- 全国的にオリジナルナンバープレートによるPRが盛んに行われています。

【事業目的】

- 町民の皆さんに大崎上島町への愛着を深めていただくとともに、全国に大崎上島町をPRすることを目的とします。

【事業内容】

- 原動機付自転車の大崎上島町オリジナルナンバープレートを制作し、交付を開始します。

■緊急雇用対策事業（産業観光課・福祉課）

【予算額】

49,929千円

【現状・課題】

- 現下の雇用失業情勢等に鑑み、離職を余儀なくされた失業者への新たな雇用・就業機会の創出・提供に努める必要があります。

【事業目的】

- 広島県緊急雇用対策基金を活用して、非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会の創出・提供することを目的とします。

【事業内容】

- 交流人口促進事業
本町の観光振興を行うとともに町内特産品の販売経路の開拓を行います。
- 造船製造活性化事業
本町の主要産業である造船業界に若年層を中心に雇用し、資格取得を進めるなど人材を育成します。
- 地域福祉推進事業
地域福祉の推進を図るため、活動推進員を雇用し、各地区サロンの運営・サポートを行います。
- 介助補助員雇用事業
障害者支援、高齢者介護分野における雇用を新たに創出し、人材を育成します。

⑤ 明るく温かい人と地域が支える まち**■おもてなしロード整備事業（企画振興課・産業観光課・建設課）****【予算額】**

2, 910千円

【現状・課題】

- 地域の美しい景観づくり、健康づくり、仲間づくり及び地域づくり意識の向上を図るため、公道の緑地帯等における自主的な花づくり活動に対して助成しています。
- 「瀬戸内しまのわ2014」において、“遊び”と“学び”の島、瀬戸内の宝が集まる「大崎上島」としてイベントが開催されます。

【事業目的】

- 町民の自主的な活動を支援し、地域の美しい景観づくりを推進することを目的とします。
- 「瀬戸内しまのわ2014」において、島にある豊かな自然を伝えることを目的とします。

【事業内容】

- 県道大崎上島循環線緑地帯に本町の花である三色すみれを植栽し育成します。
- 県道大崎上島循環線を「おもてなしロード」としプランターを設置するなどの景観整備を行います。
- 自主的に行う花づくり活動に対する補助金額の上限を1団体100千円に拡充します。

■定住促進用住宅管理運営事業（企画振興課）**【予算額】**

1, 592千円

【現状・課題】

- 大崎上島町への移住希望者が増加している中、移住体験を通じて町のアピールを行い、定住につなげていく必要があります。
- 平成25年度において、大串団地内に定住促進用住宅を2棟整備しました。

【事業目的】

- 定住希望者へ移住体験できる場を提供することで、定住を促進することを目的とします。

【事業内容】

- 平成26年4月から定住希望者へ定住促進用住宅の貸し出しを行います。
- 周知広報用パンフレットを作成します。また、施設の清掃等の管理を委託します。

⑥ 理解と協働で地域を想う まち**■第2次長期総合計画策定事業（企画振興課）****【予算額】**

3, 313千円

【現状・課題】

- 平成17年3月に第1次長期総合計画を策定し、目指す将来像「海景色の映えるまち～地域資源を活かした理想郷の実現～」を目指し、町民全員がいきいきとし暮らせる地域の実現に向けて、さまざまな施策に取り組んでいます。
- 平成26年度末で第1次長期総合計画（平成17～26年度）が終了します。
- 平成25年度において、町の現況把握及び現計画の評価・分析及び住民アンケート調査等を実施しています。

【事業目的】

- 町の目指す姿の実現に向けて、町民と行政が一体となった取り組みを進め、それぞれが役割を担いながらまちづくりに取り組み、町の進むべき方向を明らかにすることを目的とします。

【事業内容】

- 平成27年度から平成36年度の大崎上島町が目指す将来像とその実現に向けた各分野における施策・事業に方向性を定めた第2次長期総合計画を策定します。